

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、9～20℃台を示し、やや低めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週の72%（前年並み）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の2倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり0.1kgの水揚げで、前週の10%（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり4kgの水揚げで、前週の20%（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ソウダガツオなどが1日1統当たり321kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり44kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり120kgの水揚げ。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（12/14～12/18の5日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、佐渡北沖、一部対馬東沖で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、各地、時化のため出漁せず。

鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>